

第2回佐屋小学校準備委員会 会議録

署名者

委員長

副委員長

第2回 佐屋小学校準備委員会 会議録

開会日時 令和6年11月7日(水) 午後 1時59分
閉会日時 令和6年11月7日(水) 午後 4時01分
場 所 愛西市役所 南館1 会議室1-3

■ 出席委員

委員長	鈴木賢一
副委員長	石原一孝
日置町総代(佐屋小学校区)	佐藤光男
佐屋小学校学校評議員	中島悦夫
佐屋小学校PTA	下里亘
佐屋小学校PTA	岩佐浩司
未就学児保護者	成田亜耶
未就学児保護者	永森文子
佐屋小学校校長	嶋藤真由美

■ 欠席委員

佐屋小学校学校評議員	岩田有司
------------	------

■ 事務局

教育委員会	教育部長	佐藤博之
	教育部次長	飯田裕子
	学校教育課長	伊藤光
	学校教育課主幹	伊藤昭良
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主査	水谷繁夫
	学校教育課主事	大橋勇輝
	学校教育課主事	祖父江悠里

■ 傍聴者

0名

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 検討部会の報告
 - (2) 佐屋小学校老朽化対策の手法について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
4. 閉会

(学校教育課長)	本日はご多用の中、定刻までにお越しいただきありがとうございます。本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤です。よろしくお願いします。佐屋小学校学校評議員の岩田様につきましては、仕事の都合により本日急遽欠席の旨、連絡がありましたのでご報告いたします。また、副委員長の水原様につきましては、少し遅れる旨のご連絡がございましたので、ご報告させていただきます。ただ今より、令和6年度第2回佐屋小学校準備委員会を始めます。当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となります。なお、本日の傍聴の方につきましては、お見えになっておりません。また、本会議では、オブザーバーとして愛西市教育委員会の難波委員が同席しますので、ここでご報告いたします。最後に、当委員会議事録作成のため、事務局で録音をさせていただきますのでよろしくお願いします。続きまして、本日配布の会議資料につきまして、ご確認をお願いいたします。配布資料として、次第、資料1-1「佐屋小学校準備委員会に係る第1回地域課題部会を終えて」、資料1-2「佐屋小学校準備委員会に係る第1回施設・通学路部会を終えて」、資料2「施策1 佐屋小学校耐力度調査について」、資料2-1「小牧市における学校改築施工実績」、資料3「施策1 佐屋小学校の老朽化対策 スケジュール(案)」となっております。不足がありましたらお知らせください。 《不足なし》
(学校教育課長)	それでは、次第の2あいさつとしまして、鈴木委員長よりよろしくお願いします。
(委員長)	お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。先日、小牧南小学校に視察に行かせていただきましたが、新しいというだけでなく、これまでの学校とは違った学校だったのではないかと思います。従来の小学校は、標準設計で設計されております。ほとんど図面が用意されており、それをパズルのように組み立てて設計するというものです。こんな言い方してよいか分かりませんが、あまり創意工夫する余地が無かったと言えます。今、学校はすごく変わってきております。毎月、建築系の雑誌を見ると、公立学校が掲載される例が非常に多くなりました。目新しい、今までの学校とは違う観点で考えられている学校が掲載されています。決して奇抜なものということではなく、今まで私達が過ごしてきた学校とは違う方向を目指している学校が増えてきていると感じます。小牧南小学校も良い例ですが、全国に様々な事例がござ

	いますので、是非見ていただけると視野が広がると思います。そして何よりも文科省のホームページ上でも新しい事例が紹介されておりますので、参考になるかと思います。是非ご覧ください。 それでは、次第の3議事に入ります。(1) 検討部会の報告 について、10月に地域課題部会および施設・通学路部会が開催されておりますので、それぞれお願いしたいと存じます。はじめに地域課題部会について中島部会長さんよろしく申し上げます。
(委員)	資料1-1を見ていただきながら、補足説明をさせていただきます。小牧南小学校を見させていただき、色々なアイディアが盛り込まれていると思いました。例えば、体育館の上にプールが設置されていたり。佐屋小学校にどの程度の予算をいただくことができるのかという点も懸念点としてありますが、委員の皆様には様々なご意見をいただきました。地域課題部会になるのですが、施設・通学路部会に関する意見も沢山出ました。また、小学校の先生も参加されました。先生の意見も併せて検討していくべきだと思います。資料にも事前に聞き取っていただいた意見が掲載されています。当日出た意見と共通する部分もあると感じました。大胆な発想で、円形の校舎が良いという意見もございましたが、今後のメンテナンスのことも踏まえて、検討していくべきだと思います。 屋上にソーラーパネルを設置してはという意見もありました。日頃の教育活動にも活用できるし、災害時にも活用することができると思いますので、良いのではないかと思います。以上です。
(委員長)	ありがとうございました。続いて、施設・通学路部会についてですが、本日部会長の岩田さんが仕事の都合で急遽欠席との事でしたので、事務局から報告申し上げます。
(事務局)	本日、施設・通学路部会の部会長である、岩田様が仕事の都合で欠席となっておりますので、事務局から報告をさせていただきます。施設・通学路部会の部会員の皆様方は、お仕事の都合等で小牧南小学校の視察に参加された方が非常に少なく、小牧南小学校を視察した際の写真等を見ていただいた上で、ご意見等をいただいております。その点、ご了承ください。それでは、資料1-2の3枚目、意見をまとめたものをご覧ください。施設・通学路部会ということで、学校施設に関して、細かくグルーピングをしていただきました。教室・廊下に関しては、収納の多い教室、明るく広々とした教室、木のぬくもりのある教室、光が入り開放感のある教室、余裕のある教室の広さというご意見をいただいております。

	す。特別教室に関しては、掃除がしやすい教室、体育・音楽等が楽しくできる教室、学年関係なく集まれる場所、多数のお迎え児童のお迎えスペースを確保してもらえるといいなというご意見がありました。玄関に関しては、昇降口が何か所かに分かれているということでしたので、まとまった昇降口がほしいという意見がございました。先ほどの地域課題部会と同様に、部会の目的に捉われずに意見をいただいておりますので、プールや外回りについても、ご覧のとおりのご意見をいただいております。トイレにつきましては、多目的トイレを全ての階に複数設置してほしいというご意見をいただいております。設備につきましては、木のぬくもりのある校舎、夏涼しく冬暖かい空気の通り道を作ってほしいというご意見をいただいております。特に印象的だったのは、最初の教室の部分ですが、収納が多い、余裕のある教室の広さ、広い環境という意見が印象的でした。以上です。
(委員長)	ありがとうございました。通学路に関しての意見は無かったということですのでよろしいでしょうか。
(事務局)	佐屋小学校に関しましては、検討部会の名称としては通学路が入っておりますが、老朽化対策となりますので検討には含めておりません。
(委員長)	今回は、各部会それぞれの枠にとらわれず、自由な発想でご意見をいただいたと事務局から伺っていますが、それぞれの報告を聞いて、何かお気づきの点、ご質問などありましたらご意見をお願いいたします。
(委員)	浸水した部分へのアプローチの現状を教えてくださいたいです。今回検討をしている老朽化対策とは別で早急に対処すべきだと思います。10月10日に佐屋小学校を見学させていただいた時に、教育委員会の事務局の方に、対応が止まっているのは対応するアイテムが見つからないということが原因なのか、予算が原因なのかということをお聞きしたところ、予算とアイテム両方だということでした。現状の優先順位はどうなっているかということをお聞きしたいです。また、資料に佐屋小教職員からの事前意見が記載されているかと思いますが、もっと色々な角度から現役の先生の意見をお聞きすべきなのではないかと思います。そのため、現役の先生も小牧南小学校を見学していただく機会があると良いのではないかと思います。その辺り、どのように考えられているのかをお教えいただきたいです。

(事務局)	ありがとうございます。1点目に関しましては、佐屋小学校南校舎の南側、PTA 玄関の浸水が酷く、また、保健室や特別支援学級室、会議室や印刷室、職員室まで浸水被害がありました。そういった被害が起きてから何度も業者を呼び、どのようにしたら浸水を防げるのかという検討をしてもらい見積をいただいたところ、かなり大がかりの工事では水が防げないというものでした。もっと簡易な、止水板のようなものも検討したのですが、そういったものでは水を防ぐことが出来ないということでした。現状、佐屋小学校の老朽化対策を検討している中で、それだけの大掛かりな工事を行うことができるのかという所で難しいという状況です。ただ、何とかしたいという思いは担当として持っております。
(教育部長)	1点目に関して、大規模工事を行うことは老朽化対策の取組状況や費用面で難しいと考えます。一方、現時点において、簡易的な手法で浸水を防ぐという考えを教育委員会事務局として持っています。 2点目に関しては、本会議にも佐屋小学校長に参加していただいております。佐屋小学校をどのような校舎にしていくかという点については、佐屋小学校準備委員会委員の皆様のご意見を踏まえつつ、現役の先生方のご意見も非常に重要になると思っております。学校長との協議の場において、そういった視察の必要性が生まれた場合には、教育委員会として計画をしたいと考えております。
(委員長)	ありがとうございます。その他よかったでしょうか。今回まとめていただいた内容は、今後の基本設計のベースになるものになります。設計者が何を大事にして考えなければならないのかという指針になるものだと思います。一方で僭越ながら申し上げますと、災害対策に関しては最大の課題になってくるかと思えます。どういった災害に強い学校にしていくかという部分は、強く設計者に求めていかなければならないものだと思います。庁舎を設計する際に、水害対策について議論したと思います。参考になるかと思しますので、一度振り返っていただけると良いと思います。
(教育部長)	庁舎を建てる際にどのような議論があったのかという点につきましては、当時の担当者に確認させていただきます。
(委員長)	学校の先生方のご意見をいただいております、大変参考になるのですが、今の悪い部分を標準的なものにしてほしいという意見があるかと思えます。これからの新しい時代にどういった発想が必要になるかという

	視点でもご意見をいただくと良いのではないかと思います。例えば、トイレが汚いといった意見というよりは、トイレをどのようなものにしていくかという議論をされると良いのではないかと思います。多様性ということもありますので、ICT やディープラーニングについても、今まで通りの教室で良いのかどうかという点につきましても、考えていただけると良いのではないかと思います。
(教育部長)	本委員会は佐屋小学校長にもご参加いただいておりますし、検討部会においては、本委員会にお認めいただき、教頭や校務主任にも参加していただいております。今回のご意見を伝えさせていただき、ご意見を本委員会でご発言いただくよう、ご協力をお願いしたいと考えております。
(委員)	防災を念頭に置いた場合、理想はかさ上げた基礎、液状化を想定した地盤改良だと思います。ただ、じわじわと浸水した場合、校舎の2、3階に垂直避難をするということが考えられますし、体育館に避難するということも考えられます。防災対策についてはどこから行うか、段階があるかと思いますが、その辺り危機管理課はどの程度想定されているのか気になります。県の施設で避難施設はあるかと思いますが、市の対策については、あまり話し合われていないと感じます。危機管理課の方々が専門的であるかと思うので、佐屋小学校施設を新しくするにあたって、防災施設という機能も検討する際、関係してくると思います。また、北一色、稲葉、須依の方々、自主防災会の詳しい方々の意見を盛り込んでいくと良いのではないかと思います。小牧南小学校には、普段はベンチで、いざとなったらかまどとなるというものがありました。佐屋小学校で同じものを設置した場合、かまどの扱い方が分からない者ばかりで協議するのではなく、そういったことに詳しい方々の意見をお聞きするべきなのではないかと思います。防災トイレは、導入しても良いのではないかと思います。小牧南小学校には、体育館の上にプールがあるということでしたが、漏水の心配もありますので、建てた後のことも検討しなければならないと思います。
(事務局)	佐屋小学校は避難所として、有事の際に利用していただくこともあるかと思っています。佐屋小学校に避難する人がどのくらいいるのかなど、基本情報は把握しておく必要があるかと思っています。どこまで整備として取り入れるかということをお約束することは難しいですが、設計業者に依頼する際にどういう所に着眼して設計してもらうかという部分を伝えられるよう、仕様書を作成できるようにしたいと考えております。

(教育部長)	学校施設は児童生徒が学ぶ場という機能が第一ですが、文部科学省からも示されております、防災機能、または地域コミュニティの核という機能も要するというので、教育委員会のみで議論することは難しいと思います。第1次避難所、第2次避難所については、危機管理課より市民の皆様に周知させていただいているところかと思います。体育館に水が来た場合に避難所として機能することができるのかという点については、校舎の1階も同様に、避難所として利用することは難しいと思います。避難所としても学校をどのような位置づけで考えていくか、また、地域コミュニティの核としての学校をどのように考えていくかという点につきましては、それぞれの担当課と協議を進めていきたいと思っております。なお、小牧南小学校でどのような協議の結果、かまどを設置することになったのかという点につきましても、調査させていただき、皆様方にご報告させていただきたいと思っております。
(委員長)	防災につきましては、行政と地域がどのように協力してやっていくかという点を綿密にシュミレーションしておくことが重要だと思います。
(委員)	予算の話になると、本当に学校が建つのだろうかと思ってしまう所があります。委員長さんから、以前「夢を語ってください。」と言っていたとき、家に帰って想像を膨らませ、こんな学校が出来上がったなら良いなと考えていました。ですが、一度現実に戻って考えてみると、本当に小牧南小学校と同じような40億で足りるのだろうかと思っています。素晴らしい学校ができればそれはそれで良い事だと思いますが、勉強できるスペースさえあれば良いのではないかという考えにも至りました。私が今まで見てきたものの中ですごく良いなと思ったものがありました。夏休みに大治町の小学校で、親子と地域の方で避難所体験をしていました。実際に使う段ボールハウスを使って一泊するというものでした。素晴らしいなと思いました。体育館さえあればできることだなとも思いました。また、40年くらい前だと思いますが、理科の先生が夜の天体観測を学校で開催し、子どもたちを集め一泊させるということもありました。どちらも学校に興味を持つということからスタートしているのではないかと思います。11月17日に愛西市でも防災訓練があったと思いますが、果たしてどれだけの人が興味を持って参加してくれるのかなと思います。私は、このような委員会に参加しているから目に留まりましたし、参加してみようかなと思いましたが、主人は全く興味がありませんでした。恐らく、興味はあっても行けない、用事を辞めてまで

	行く人はそこまでいないのではないかと思います。学校や防災に興味を持ってもらうために、別の視点で見ることも大事なのではないかと思ったことがあります。ゴルフ場で仕事をしている時に、ゴルフをしない人でもゴルフ場を利用してほしいということで、広い敷地を利用したウォーキングイベント、女性を対象にしたヨガ教室、夏の時期には親子で参加できるキャンプなどが行われていました。後々はゴルフ場の利用者を増やすという目的もありますが、ゴルフではない観点から敷地を活用するというのが印象的でした。学校に少しでも興味を持ってもらうために、検討部会でも意見を出しましたが、生涯学習スペース、高齢者の方が集まれるような場所、地域の方が利用できるプールなどもあっても良いのではないかと思います。様々な観点から、催しやイベントを開催することを検討しても良いのではないかと思います。
(教育部長)	新しい学校を作るために、準備委員会の委員の皆様方にこのようにお越しいただいておりますので、まずは機能面としてどのような機能をもつ学校が良いのかというご意見をお聞かせ願えればと思います。
(委員長)	円い校舎については、なぜ円い校舎が良いのかという理由を掘り下げ、円い校舎でなくても叶う可能性を探るということも必要なのではないかと思います。こういう施設が良いということではなく、こういうことがやりたいという話ができることが一番大事だなと思います。
(委員)	親として小学校に何を望むのかというと、安心して送り出せる環境だと思っています。きれいな校舎も魅力的ですが、学びの基礎の場であってほしいと思います。しっかり学んで、色々な興味を持って、そこから自分で探していくという場であってほしいと思います。小学校の6年間は、長いとは感じると思うのですが、子どもたちの世界が広がる最初のステップだと思います。親としては、毎日安心して送り出せる環境であること、自主的に色々な興味を持って学べる場所であるべきであるということを考えつつ、施設の中身や先生達の職場環境を考えて進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
(教育部長)	佐屋小学校施設は老朽化が進んでいる状況で、雨漏りも見受けられます。その上で、教育委員会といたしましては、校舎を改築または大規模改修を行うことで児童の教育環境を整えるという目的のもと、協議を進めています。

(委員)	小学校低学年でも A4 版の教科書を使っているのですよね。それに合わせて、机もサイズの大きいものに変えなければならないと思います。それと、文部科学省からは 1 学年何人学級という指示が出ているのですか。
(委員)	35 人学級です。
(委員)	35 人入るスペースが必要で、ただ入るだけでなく、机と机の間のスペース等も必要になります。また、小牧南小学校のロッカーは、少し大きく感じました。そういったスペースがある学校であるべきだと思います。ただ、今のままの状態で教室のスペースを広くすると、廊下が狭くなり、それで良いのかという問題もあります。そういったことを考えると、改修ではどうにもならないと思います。佐屋小学校にそういった課題があるのであれば、他の小中学校にもそういった課題があるのではないのでしょうか。円形の校舎でも良いのですが、そういった課題の解決に予算を活用していただいた方が良いのではないかと思います。
(教育部長)	佐屋小学校について、教室やロッカーのスペースを確保する前提で、教室のサイズは決めていきたいと考えております。なお、佐屋小学校区においても、児童数は減ってきております。そういったことも考慮した上で、教室のサイズについては検討し、スペースを確保したいと考えております。
(委員長)	様々なご意見ありがとうございます。検討部会での検討を続けながら、設計業者にどういったことを考えながら設計してもらうのか、伝えられればと思いますので、よろしく願いいたします。続いて、(2) 佐屋小学校老朽化対策の手法について事務局より説明してください。 <説明>
(委員長)	ただ今、佐屋小学校の改築と改修について、事務局から説明がありました。委員それぞれから、改築、改修のどちらの手法が相応しいと考えるか、ご意見とともにお話いただきたいと思います。
(副委員長)	こういった公共事業に関する補助は大体決まっているかと思いますが、それ以外に地元の企業からの寄附を募ることはできないのでしょうか。

(教育部長)	市外からですとふるさと納税という考え方がございます。校舎を建て替えるのに寄附を募るということについては、基本的には難しいと考えております。
(委員)	先ほど、弥富市の事例をご紹介いただきましたが、35人学級で十分なスペースのある教室に改修をされたのか、そのままのスペースで改修されたのか、お伺いしたいです。
(事務局)	答えられる範囲になってしまいますが、学校を実際に見させていただき、教室が大きくなっていたイメージはありませんでした。ただロッカーは大きくなっていたと思います。本日ご用意した資料の最後のページをご覧くださいませでしょうか。作成途中ではございますが、今後決定する設計業者にどのようなことを発注者側が考えているのかを示す資料になります。教室の大きさ、8メートル×9メートルと書かせていただいております。現状は、7.7メートル×8.2メートルです。今のままでは、大きい机を置くと机間指導ができないということが起こっています。実際に、愛西市の立田中学校で机の天板を大きいものに変えて授業を行っているのですが、机間指導がやりにくいと聞いております。弥富市さんが行っている大規模改修について、教室の大きさがどうなったかということについては改めて調査させていただき、お答えさせていただきます。本日は資料を持ち合わせておりません。
(委員)	改修で適切な教室の広さを確保するということは難しいのでしょうか。
(事務局)	委員長さんの方が詳しいかもしれません。抜けない柱は抜けないんですよね。
(委員長)	抜いてはだめですね。
(事務局)	壁をスライドさせる等は可能だと思いますが、教室の形がかなりいびつになる可能性があります。抜けない柱はそのままになりますので。
(委員)	そうしますと14ページの教室に関しては、建て替え時を想定していますか。
(教育部長)	机間指導を行う為には、このスペースは必要になります。現時点では足りていないということを示すためだにご理解いただければと思います。

(委員長)	改修事例の中には、教室の南側に張り出しで行っているところも無くは無いですが、中々、耐力度調査の結果を見ると、改修は厳しいのではないかと思います。
(教育部長)	準備委員会委員の皆様方より、改修では安全な子どもたちの教育環境の確保ができないというご意見をいただいたのであれば、それを受け止めさせていただきます。
(委員長)	工事費についても、明るい材料が今のところありません。この後どうなるか分かりませんが、改築となると杭をかなり深く打ち込まなければならないと思います。そうしますと、工費にプラスアルファが考えられます。そういった意味では大きな金額になることは容易に想像できます。改修するにしても相当の金額がかかることが想定される中で、改修で乗り切るんだという意見があるのかどうか、それはないよなということなのか、委員の皆様にご意見をお伺いしたいと思います。
(委員)	児童数が減ってきているので、現在の佐屋小学校の規模よりもこじんまりしたものを考えられていますか。
(教育部長)	児童数は減っておりますが、特別支援学級は増えてきておりますので、一定量の教室は確保しなければなりません。
(委員)	デジタルが進んだ際に荷物も少なくなるのではないかと思います。どこまでデジタルが教育に影響するのか、それによってかなり変わってくるのではないかと思います。
(委員)	デジタルが進むことによって、例えば、タブレットの中に教科書が入ると、教科書が要らなくなるということも考えられます。今は、置き勉強と言いまして、教科書を置いて帰るということがどこの学校も主流になっております。その置き場所にも困っているという状況ですので、置き場所は沢山あった方が良くのではないかと思います。
(委員)	それすら無くなって、タブレットだけ持ち歩くという時代がくるという可能性もあるのでしょうか。
(委員)	そこまでは分かりかねますが、小学生は何かと荷物がございますので、

	置き場所は必要だと思います。
(委員)	今は、デジタルがすごく入ってきており、アナログと言われるものが無くなってきています。教育にもそういった傾向があると、今と状況が変わってくるかなと思います。
(事務局)	前回お配りした青いファイルの、⑧新しい時代という資料の18ページに「ロッカーの配置を工夫した空間」というものがございます。これを見る限り、今後もロッカーは必要なのではないかと思います。
(教育部長)	今は夏場ではランドセルではなく、簡易なバックでも良いということになっておりますが、今現時点では、ロッカーを小さくする、無くすという前提は難しいのではないかと思います。
(委員長)	どこの学校を設計していても、ロッカーのサイズをどのくらいにするかという点は必ず議論しますが、どんどん大きくなっていきます。ただ、限界がありますので、ここで手を打とうという話にいつもなります。タブレットで言うと、某先進国でタブレットでは子どもの学力が上がらないから教科書に戻そうという動きがあります。本当にタブレットのみになるのか、これからどうなるのか、分かりかねます。こういった協議の中で、小さなロッカーで良いと言われる方はいらっしゃいますが、実際は難しいと思います。
(委員)	校長先生がよくお分かりだと思いますが、教科書以外でも持ってくるものはありますよね。
(委員)	色々持ってこななければならない物がありますので、その子その子の場所が必要だと思います。特に小さい子はあっちいったこっちいったになってしまうよう、1つの大きな置き場所があると、担任の先生は楽だと思います。
(委員長)	それでは、改築か、改修かについて、一人一人のご意見をお伺いします。
(委員)	スケジュールを見させていただいておりますが、学校が建つのは相当先の話のように思います。大規模改修か改築かが決まり、構想し、設計して、ということを見ると、令和12年以降になるのではないかと予想しました。あまりゴール地点のイメージが湧いておりません。ただこの

	間、佐屋小学校の視察に行かせていただき、急を要するような箇所をいくつか拝見させていただきました。私の意見としては、工期の短縮ができるというメリットがあるので、改修で早急にアプローチするべきなのではないかと考えます。
(委員)	浸水している部分はびっくりするような痛み方でしたので、子どもたちの教育環境として大丈夫かなと思いました。ただ改築になると、浸水部分や弱くなった部分は、改築するまではこのままなのでしょうか。改修できる部分があれば行い、長くもたせるという考え方で、やはり改築を行うべきなのではないかと思います。
(委員)	改築を希望します。図面を見た時、また実際に小学校を見た時に、校舎等の配置がすごく気になりました。体育館が校舎の後ろにあり、もっとスマートな配置は無いのかなと思いました。改築をして、バランスの良い、配置の良い学校にした方が良いのではないかと思います。老朽化対策整備概要にある、教室の数は現状の小学校の状況をもとに作られているのか、改築を前提として考えた時に必要な数が書かれているのか、どちらなのでしょうか。
(事務局)	こちらは、現状の施設数を参考に作っております。ですので、12ページ中段にコンピューター室の記載がありますが、現状1人1台のタブレットがありますので、現状はコンピューター室としては活用していないということをご報告させていただきます。
(委員)	ということは、改修をしたとしても、現状の佐屋小学校敷地で必要な部屋数等は確保できるということですね。ただ、小牧南小学校のような開かれた図書室や配膳室を作ろうと思うと、やはり改修では難しいのかなと思いますので、やはり改築が良いのではないかと思います。
(委員)	南館が一番古く浸水をしているということから改築、北館については予算のこともあるので改修で良いのではないのでしょうか。特別支援の児童が増えているという話がありました。小牧南小学校は、特別支援学級の部屋と保健室が直結しており、そういった工夫を取り入れてはどうかと思いました。
(委員)	佐屋小学校校舎の築年数を考えると、南館が一番古いです。かつ1階が浸水している。予報で大雨が降ることが分かっている場合は、あ

	らかじめ先生方が土囊で対応してくれているということですが、そういったことをさせてはいけないのではないかと思います。きっちり環境を保証しなければならないのではないかと思います。南館は改築が必要だと思います。昇降口が西側についていますが、運動場に出づらく、避難する際にも不便だと思います。昇降口は南館に1つ大きいものを作るべきだと思います。子どもたちの動線を考えるとどうなのかなと思います。また、南館と北館では地面の高さが違います。南館の方が若干低くなっています。傾斜があるため、雨漏りが発生していると思います。その辺りを考えると、改修では何ともならないと思います。北館に関しては、予算の関係もありますので、改修でも良いのではないかと思います。ただ、施設内の備品等は子どもたちが使いやすく、きれいなものにしてほしいと思います。ソーラーパネルと蓄電については、将来的なことを考え、お願いしたいと思います。
(委員)	改築する場合、基礎が上がるわけですね。今の学校よりは高くなるのですかね。そうすると、小学校の東側に住宅が沢山あり、日照権の問題も考慮しなければならないかなるのですかね。
(教育部長)	改築となった場合には、日照権については考慮し、構想の段階で確認しなければならないと考えております。
(委員)	東側の道路の拡張は計画に入っていますか。
(教育部長)	道路を拡張する場合は、学校の土地を削ることになると思います。
(委員)	その道路が暗いイメージがあるので、学校を改築する場合、住民だったら、道路の拡張等もやってほしいと依頼するかなと思いました。
(教育部長)	学校施設に関してご議論いただいておりますが、施設を触る場合には地域の方のご意見をお伺いするべきだということを承知しております。
(委員)	改築か改修かということであれば、改築でお願いしたいと思います。
(副委員長)	個人的は、絶対に改築が良いと思います。ただし、今のうちに何とか寄附を募るべきだと思います。
(教育部長)	企業からの寄付などの方法については、今後財源を確保するという考え

	から、市長部局と協議をする必要があると考えます。
(副委員長)	改修にしる、改築にしる、工事中の小学生はどのように学習をするのでしょうか。片方の校舎では入りきらないと思いますし、工事中は騒音の問題もあります。
(教育部長)	改築、改修の工事期間は、今の教室では学習を行っていただけません。どのような場所で、どのような建物の中で、学習をしていただくかということについても、今後検討をするべきだと思います。
(副委員長)	例えば佐屋西小学校を増築し、そこで過ごしていただくということは検討にありますか。
(教育部長)	施設の強度から難しいと思います。また、通学に関しても検討していただかなければならなくなると思います。
(委員長)	補助金について、探すといくつか出てくるかと思います。探していただければと思います。
(委員)	国や県からの助成金と言われましたが、県の補助金というものはあるのでしょうか。
(事務局)	県につきましては、まだ見つけられておりませんが、今後も探していきます。
(教育部長)	文部科学省の補助金を第一に考えます。防災機能を併せ持つという観点から、そちらの補助金も活用できないかという考えを持っております。
(委員長)	それでは、(3) 今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	<説明>
(委員長)	ただいま事務局から、第1回準備委員会に提示されましたスケジュール案から変更された案が示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。

	《意見無し》
(委員長)	(４) その他について事務局から何かありますでしょうか。
(事務局)	第１回会議の議事録につきましてご覧いただき、訂正点のご報告ありがとうございました。今後、ホームページ等で公開させていただきたいと思います。委員長、副委員長よりご署名をいただき、ご承認とさせていただきますので、お諮りいたします。
(委員長)	よろしいでしょうか。 《異議なし》
(事務局)	次回以降の流れにつきまして、次回の検討部会、もしかすると検討部会は開催せず、そのまま準備委員会になってしまう可能性もありますが、委員長さんと相談させていただきながら、決めさせていただきたいと思います。そちらにつきましても、ご承諾ください。
(委員長)	よろしいでしょうか。 《異議なし》
(委員長)	せっかくの機会ですので、委員の皆様、他にご意見等何か言い忘れた事などはありますでしょうか。 《意見無し》
(委員長)	無いようですので、これを持ちまして、第２回佐屋小学校老朽化対策準備委員会を閉じさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。